

生協役員研修会「台風15号災害発生時の地域協同・連携について」

11 住み続けられるまちづくりを



1. 日時 2023年3月8日(水) 10:00~12:00
2. 開催方法 オンライン (zoom ミーティング)
3. 講座テーマ「台風15号災害発生時の地域協同・連携について」
4. 参加者 29名 (2連合会、8生協、1労働金庫、講師2名)
5. 開催概要

望月常務理事の司会で開会され、稲垣会長から開会あいさつがされました。

(報告1) 静岡県社会福祉協議会地域福祉課長 松浦 史紀 氏

静岡県災害ボランティア本部・情報センター(県V本部)の役割と体制、台風15号発生時の県V本部の支援活動や県域における連携協同の事例(行政書士会、技術系NP0等)、県内各市町での災害V活動の状況、台風8号による賀茂地域での支援活動状況など幅広い内容が報告され、最後に生協も含めた様々な団体に関わる地域協同型災害Vセンターの必要性が述べられました。

(報告2) 静岡県ボランティア協会常務理事 鳥羽 茂 氏

台風15号災害発生時、被災者ニーズに対応し、県内外の技術系NP0との連絡・調整の取り組み、被災状況の把握が進まない中、静岡市議会議員団への申し入れ、「あったか家電を贈ろうプロジェクト」の取り組み、被災者が気軽に集まることができる居場所づくりの取り組みなどについて報告されました。いざという時の備えは平常時からのつながりづくりが大切であることが強調されました。

(報告3) 会員生協の対応状況報告

生活クラブからは静清センターの浸水被害(事務所・倉庫・車両の被害状況)と復旧の取り組みについて、ユーコープしずおか県本部からは豪雨による店舗の停電や清水区店舗の浸水被害、宅配の一部地域の通行止めへの対応、災害支援活動(社会福祉施設復旧支援、災害Vセンター移設・運営支援、災害ごみ回収・運搬等)について報告されました。



(自由発言)

災害支援V活動参加者からの体験が発言されました。また、ボランティア活動に参加したいと思っている人に対するきっかけづくりについて意見が出され、講師の松浦氏から初心者向け説明会の開催について回答されました。

鈴木副会長より閉会あいさつがされました。閉会后、参加者には参加者アンケートを配信しました。

静岡県生協連 2022年度第6回理事会

【日時】2023年3月24日(金) 13:30~15:15

【場所】ユーコープしずおか県本部会議室

(静岡市葵区呉服町) および Web 会議システム

【出席者】理事 13名 (うち 11名が Web 出席) 監事 1名

【議長】稲垣滋彦会長

【議決事項】

(1) 第58回通常総会の開催について

(2) 第58回通常総会の代議員数について

(3) 第58回通常総会での役員選任について

【協議事項】

(1) 2022年度静岡県生協連活動進捗報告(2次案)

(2) 2023年度静岡県生協連活動方針(1次案)

【報告事項】

(1) 2023年度年間日程について

(2) 2023年度会員生協の会費について ほか

被災 69 年 2023 年 3・1 ビキニデー集会開催報告

16 平和と公正を
すべての人に



1. 開催概要

3・1 ビキニデー静岡県実行委員会、原水爆禁止世界大会実行委員会が主催する「3.1 ビキニデー集会」が、2019 年以來 4 年ぶりに焼津市内および静岡市内にて開催されました。

【久保山愛吉氏墓参行進・墓前祭】9:30 出発 10:30～墓前祭

全国から 700 人が参加し、焼津駅前から弘徳院（焼津市浜当目）までを行進しました。久保山さんが愛した赤いバラの花を墓前に捧げました。

【3・1 ビキニデー集会】13:30～16:00

グランシップ中ホールで開催された 3.1 ビキニデー集会是会場参加が 800 人、オンライン視聴が 661 人でした。静岡県内の被爆者代表、焼津市長、核兵器廃絶のための連携を進める国内外の皆さんから、平和を求め核兵器をなくすための取り組みと課題について報告がされました。

（主催者挨拶）石原洋輔氏（静岡県原水爆被害者の会会長）

（来賓挨拶）中野弘道氏（焼津市長）※ビデオ

（主催者報告）野口邦和氏（原水爆禁止世界大会実行委員会運営委員会共同代表）

（文化企画）落語「私の名前は第五福竜丸」 ゴスペル亭パウロ

（メイン企画）ビキニ水爆被災 69 年—たたかいは終わらない

川村恵子氏（大石又七氏義妹）、高知ビキニ被災船員、マーシャルからの報告武本匡弘氏（環境活動家）

（世界大会・NPT/核兵器禁止条約第 2 回締約国会議に向けて海外代表との交流）

（核兵器禁止条約に参加する日本政府の実現を—日本の草の根からの発言

「被災 69 年 2023 年 3・1 ビキニデー集会アピール」の採択

2. 静岡県生協連の関わり

主催者団体の一員として、バラの花の手配と販売（300 本）、行進副リーダー、会場設営、受付、集会司会（望月常務理事）などの役割を担いました。



行政・諸団体関係への役員の参加状況（2023/2 月～2023/3 月）

2/6 中央地連 第 4 回組合員活動委員会	3/7 フードバンク第 5 回理事会
2/9-14 フードバンク仕分けボランティア	3/8 生協役職員研修会
2/14 第 3 回 静岡県農業における有機等環境負荷低減の在り方検討会	3/13 第 2 回ふじのくに消費者教育推進県域協議会
2/15 中央地連第 2 回大規模災害対策協議会	3/16 中央地連第 4 回組合員活動委員会
3/1 被災 69 年 2023 年 3.1 ビキニデー	3/17 県労福協 第 4 回理事会/幹事会
3/6 ALWF 理事会	3/22 中央地連 第 5 回運営委員会/総会議案検討会
	3/24 静岡県生協連第 6 回理事会

常務理事活動レポート

令和 5 年 3 月 13 日ふじのくに消費者教育推進県域協議会

2022 年 4 月に成年年齢が 20 歳から 18 歳に引下げられ約 1 年が経ちました。前年同時期と比べて 18～19 歳の消費生活相談件数も平均既支払額もともに増加しています。脱毛エステや他の内職・副業の相談件数の増加が目立ちます。協議会では低年齢からの消費者教育の大切さ、未然に被害を防ぐことの大切さが意見として出されました。

また、高齢者を中心としたデジタル格差解消の取組や、県内大学生や専門学校生 16 人と県が協働で制作した啓発動画が紹介されました。（中村範子）

被災 69 年 2023. 3. 1 ビキニデー集会

今年度は 4 年ぶりの現地開催となりました。久保山愛吉氏の墓参行進・墓前祭には全国から 700 名が参加、追悼の気持ちを込めて墓前に赤いバラを手向けました。

また、グランシップ中ホールで開催された 3.1 ビキニデー集会にも会場 800 名、オンライン視聴 661 名と多くの方が参加されました。集会では、ビキニ被災を忘れてはいけないと国内だけでなく海外からも参加した各界代表がそれぞれにアピールをしました。核兵器のない世界への実現に向けて、世論に訴える良い機会になったと思います。（望月美可）